

=私たちの活動 4つの柱=  
 \*制度化と指導員の身分保障  
 \*専門性と仕事の確立  
 \*父母と共に学童保育運動の発展  
 \*全国の指導員との団結と連帯

建交労全国学童保育部会

# ニュース学童保育

2022. 7. 5.  
 NO. 88  
 全日本建設交運一般労働組合  
 全国学童保育部会 発行  
 編集：事務局



京都産業会館がメイン会場。

6月10日〜12日に、京都にて建交労フェスタが開催されました。中央本部の目標150人を大幅に上回る248人が参加し、学習・交流・体験活動など3日間を存分に楽しみました。

**目標上回る  
248人参加**

# 建交労フェスタ、京都

学童保育部会は、福島、群馬、愛知、福岡の各支部より計10人が参加。初日夜には部会の交流会を開催し、保育のこと、

**聞いてくれるのは  
組合だけ**

2日目は、グループに分かれての行動。女性部では、座禅や七宝焼きの体験コースが準備され、一般の観光コースは宇治平等院や酒蔵の見学などがありました。

講演では、全労連の小畑議長がコロナ禍で苦しんだ様々な職種の声を紹介し、「すべての労働者のゆとりある生活と労働をかちとろう」と呼び掛けられました。

政権の目論見を笑いを交えて分かりやすく解説(?)してくださいました。



フェスタ初参加の方も数名。最後に学童部会のみんなで記念撮影しました。

施策のことなど、久しぶりに会う分、話が尽きることもありませんでした。3日目のシンポジウムには、部会を代表して阿部副部長が登壇。

## 全国学童保育部会総会

全国部会総会は、コロナ禍の影響で去年はZOOMで開催しました。まだ、予断を許さない状況ですが、感染状況も下火になっていることから、今年は、対面による開催とします。

日時：9月18日（日）午後1時～  
 19日（月・祝）12時  
 場所：中央本部会議室（新宿区百人町4-7-2）  
 宿泊：ホテルグランドシティ池袋

\*ただし、感染への不安など現地参加が困難な組織のためにZOOMの準備もします。

「施策変更に反対し、署名活動もやったが市は耳



阿部さんは、処遇改善の獲得は本当に助かった、率直に語っていました。

を貸さない。仲間が職を失い、悔しい思いをした。怒り、憤りを聞いてくれるのは組合だけ。組合が無かったら、私はここにいなかったでしょう」と、語りました。  
 （部会事務局長 田村一志）